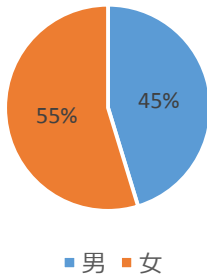
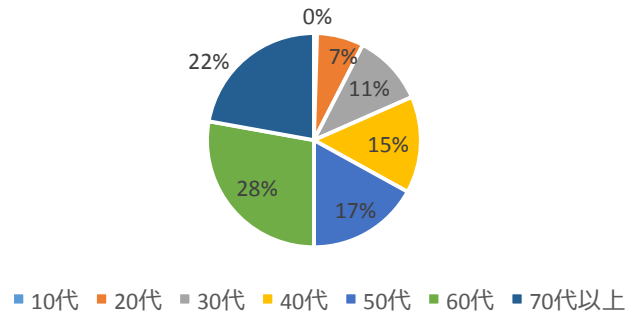


平成30年度 飯島町男女共同参画プラン見直しのための実態調査結果

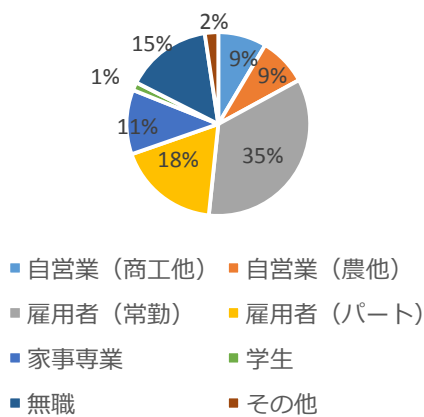
問1 あなたの性別は。



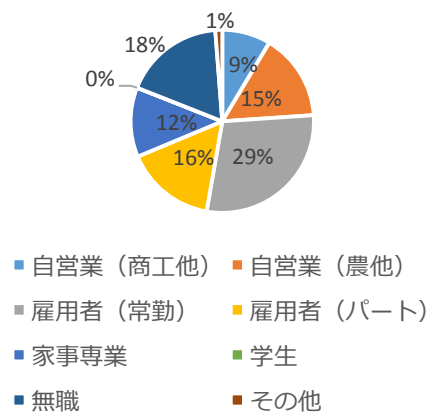
問2 あなたの年齢は。



問3 あなたのご職業は。

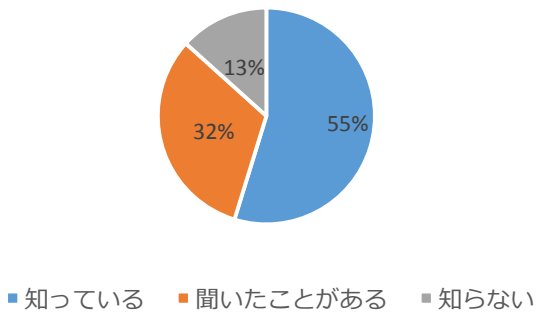


問4 配偶者のご職業は。

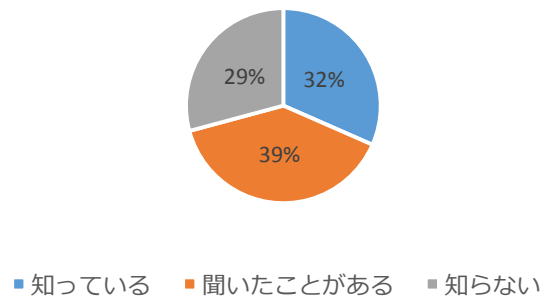


問5 次の言葉やことがらについて、知っていますか、または聞いたことがありますか。

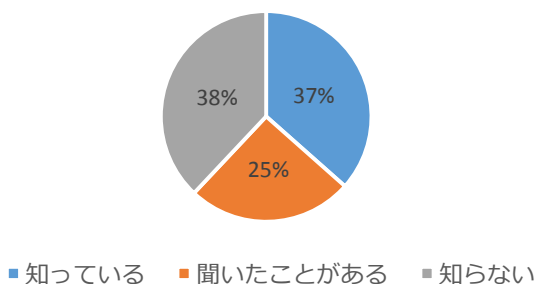
(1) 男女共同参画社会



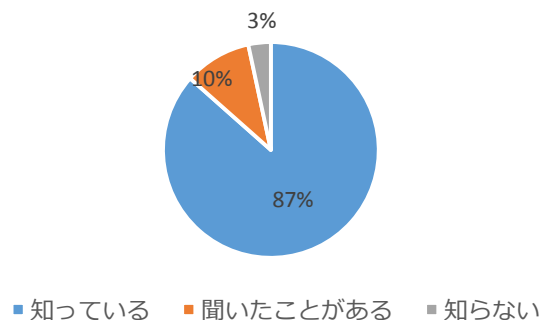
(2) ワーク・ライフ・バランス



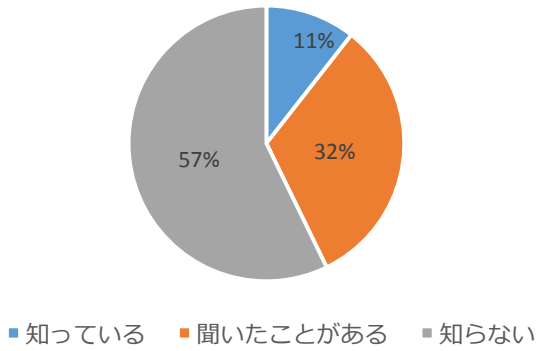
(3) ジェンダー



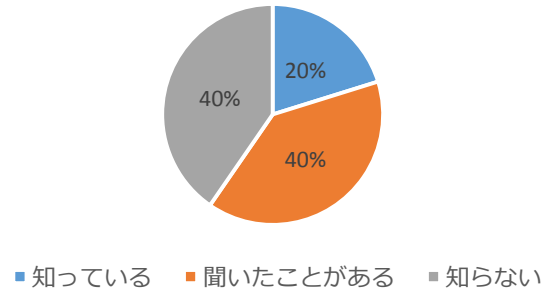
(4) DV



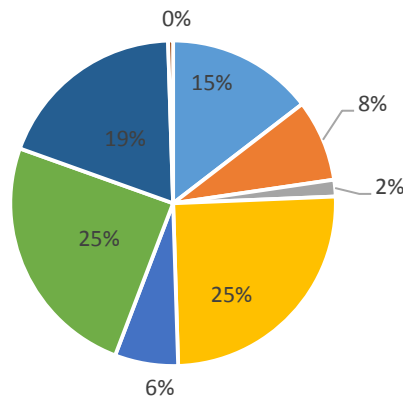
(5) ポジティブアクション



(6) 飯島町男女共同参画プラン（心をつなぐ町づくり）



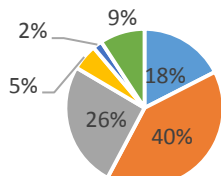
問6 あなたが考える「男女共同参画社会」はどのような社会ですか。（3つまで）



- ①法律や制度の上で、男女の差がなくなる社会
- ②政府や企業などの重要な役職に、一定の割合で女性が登用されている社会
- ③仕事より、家庭生活を重視する社会
- ④男女ともに、仕事と生活の調和がとれている社会
- ⑤新たな発想や多様な価値観が、活かされる社会
- ⑥男女が責任を分かち合い性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会
- ⑦男女を取り巻く偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりなどが解消された社会
- ⑧その他

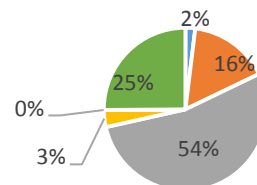
問7 次にあげる分野で、男女は平等になっていると思いますか。

(1) 家庭の中では



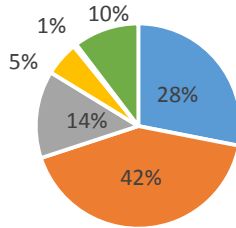
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている

(2) 学校教育の場では



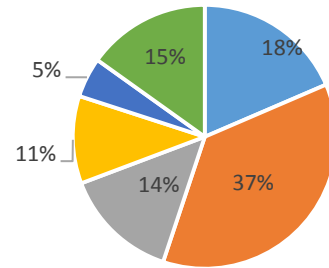
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(3) 職場では



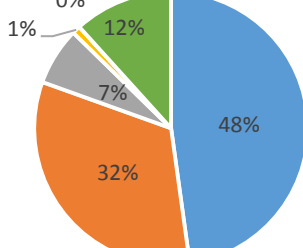
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(4) 地域社会の場（自治会やPTAなど）



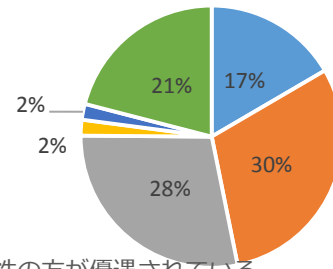
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(5) 政治の場では



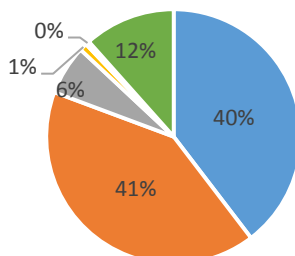
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(6) 法律や制度では



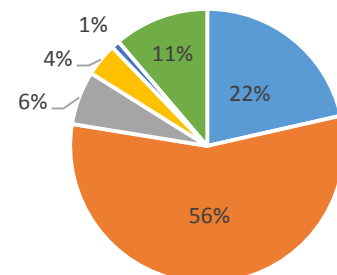
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(7) 社会通念・慣習・しきたり



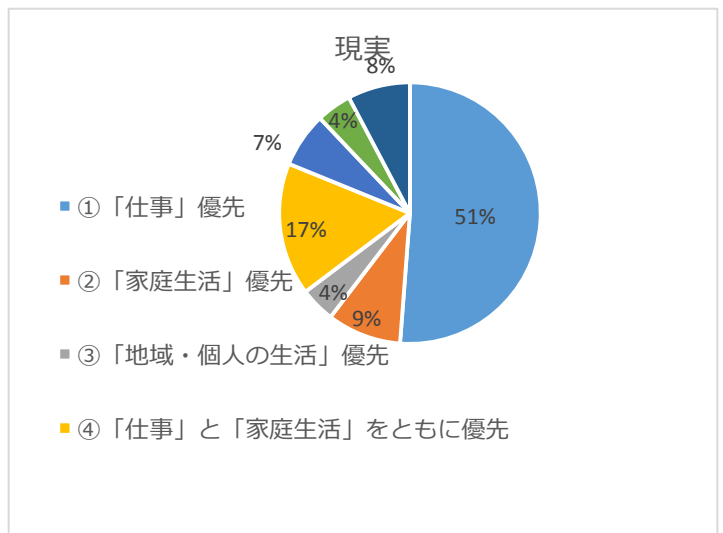
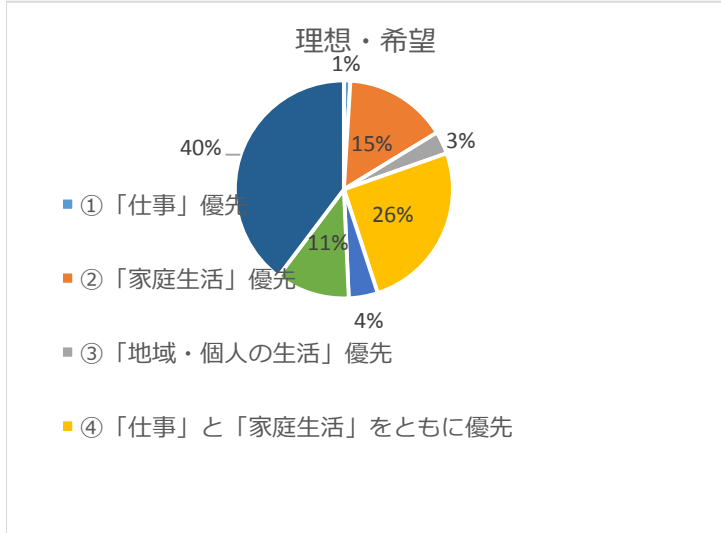
- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

(8) 社会全体として

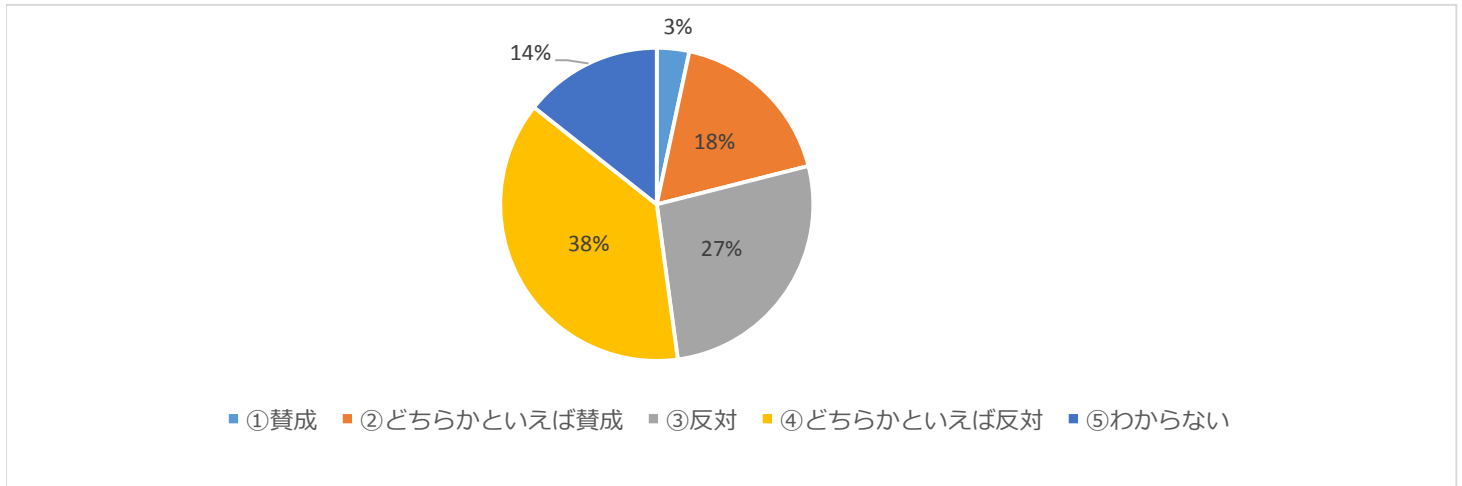


- ①男性の方が優遇されている
- ②どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ③男女平等である
- ④どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ⑤女性の方が優遇されている
- ⑥わからない

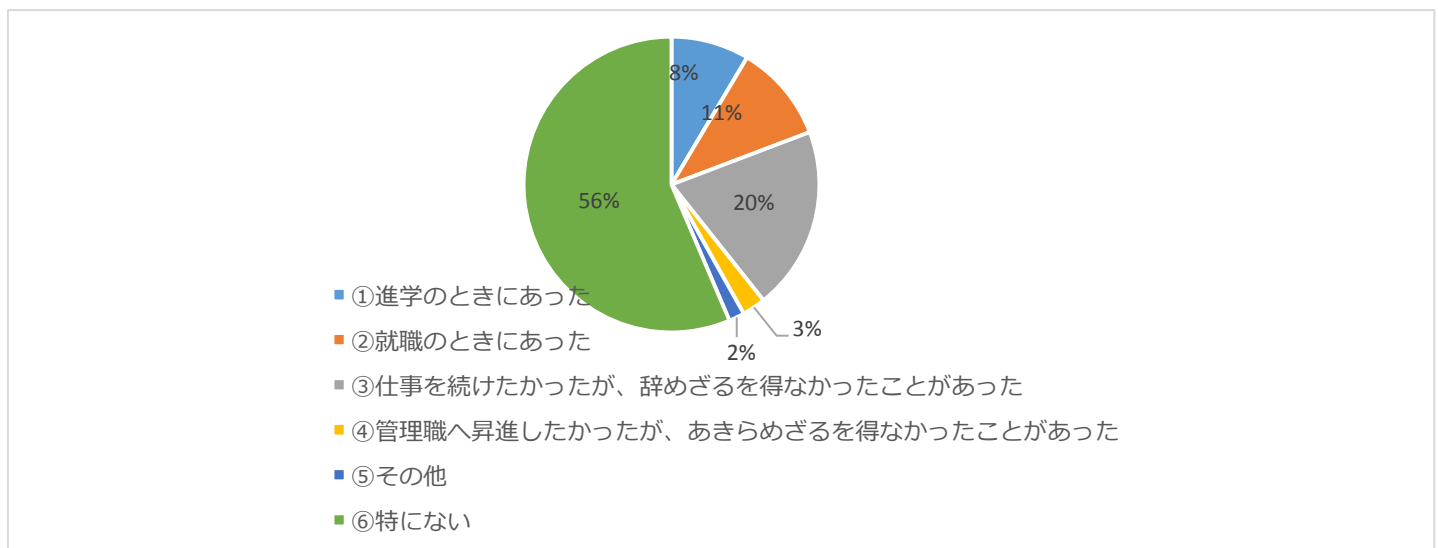
問8 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について理想とする（希望する）生活と、現実の生活にもっとも近いものを1つ選択して下さい。



問9 「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考えについて、どのように思いますか。お考えに近いものを1つ選択して下さい。

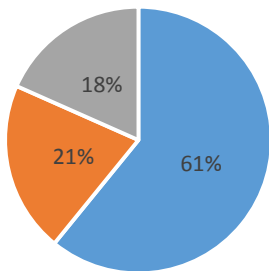


問10 男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選択して下さい。



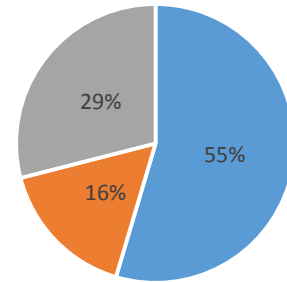
問11 あなたが住んでいる地域ではPTA・自治会・そのほかの地域での活動において、次のような事例は見受けられますか。

(1) 力仕事は男性、接待は女性と、役割が決まっている



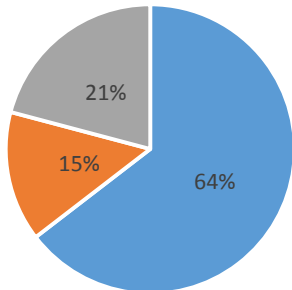
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(2) 自治会やPTAの会長は、特別な理由以外は男性が受ける事になっている



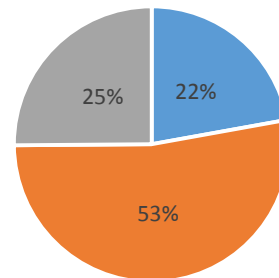
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(3) 自治会やPTAの責任ある役職はほとんどが男性である



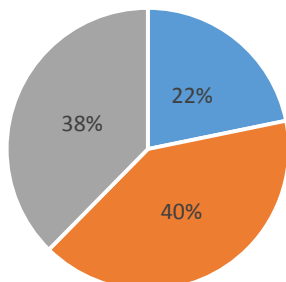
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(4) 役員や組織の運営事項は男性だけで決めている



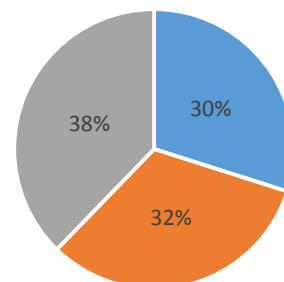
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(5) 実際の仕事は妻がしているのに、名義は夫になっている



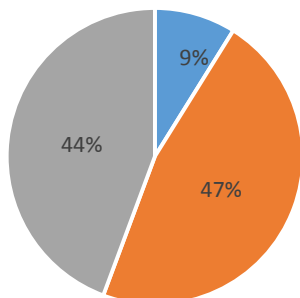
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(6) 女性自身が責任ある役職につくのを避けている



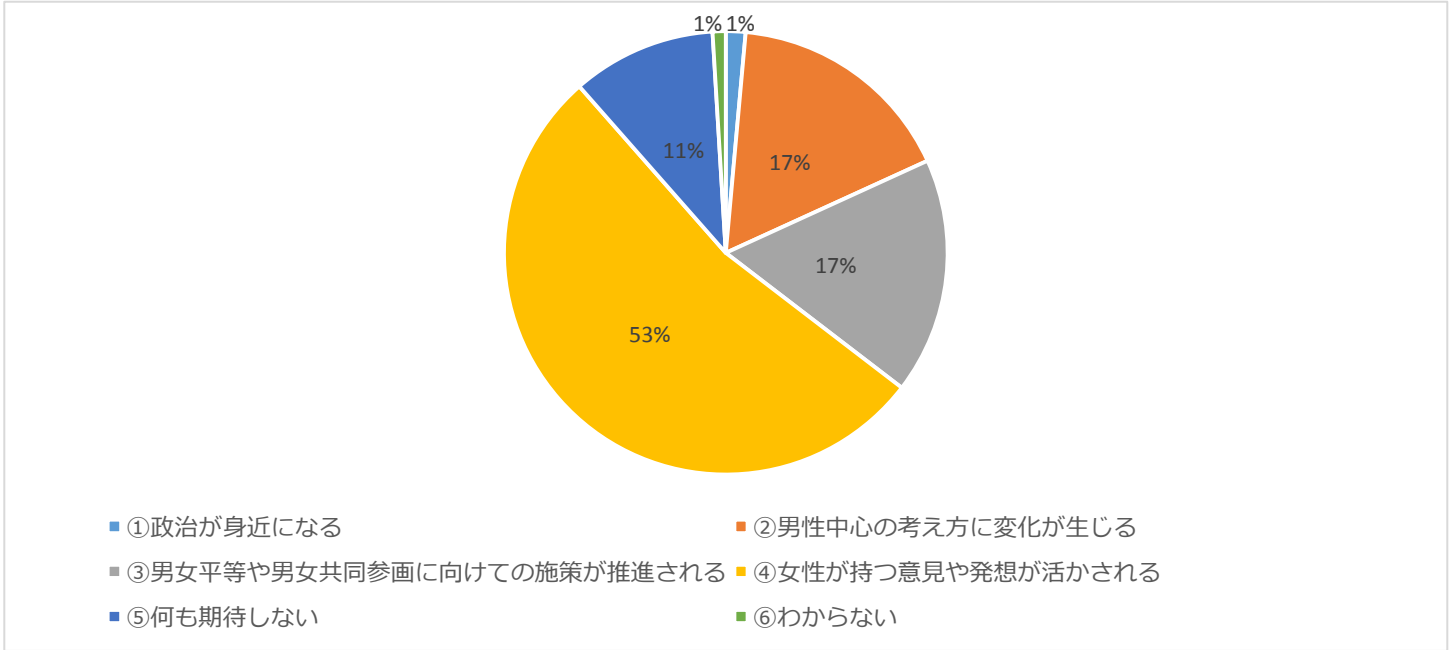
■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

(7) 女性が責任ある役職につこうとすると、男性や他の女性から反対される

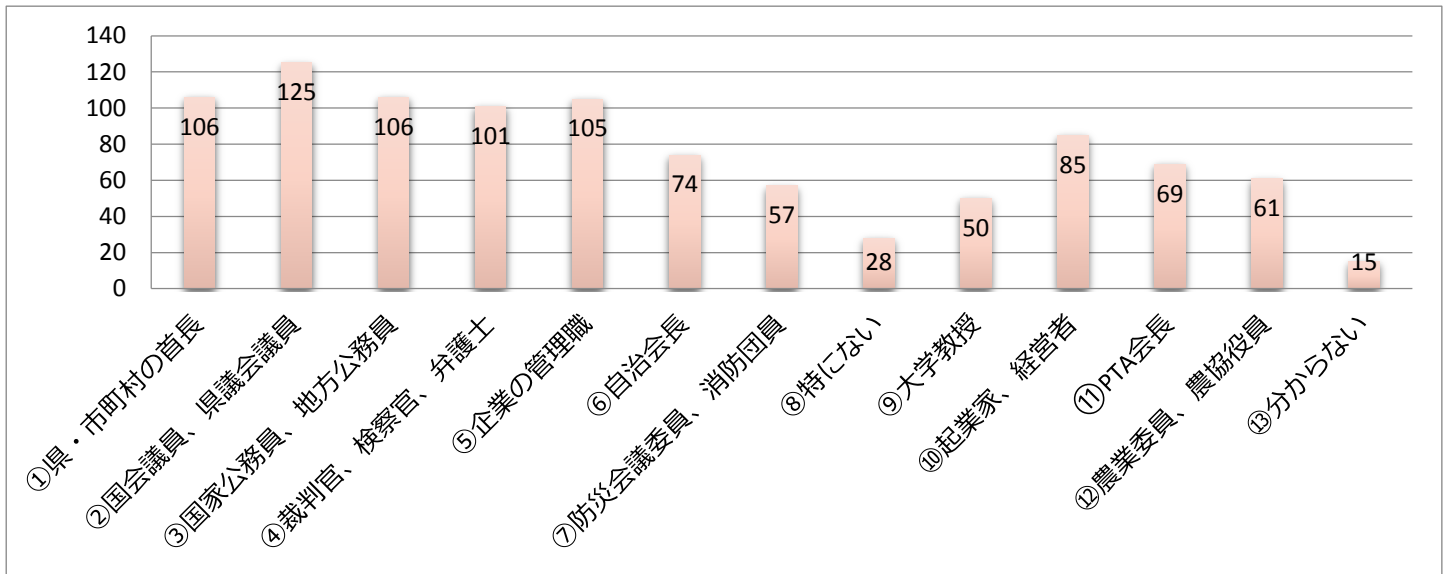


■ ① そうである ■ ② そうではない ■ ③ わからない

問12 あなたは、政策決定の場に女性が増えることで何を期待しますか。



問13 あなたが、今後女性が増える方が良いと思う職業や役職はどれですか。この中からあてはまるものすべて選択して下さい。

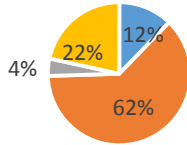


問14 現在、飯島町議会議員における女性の数と割合は、5人（約4割）。一方、各種審議会などにおける女性委員の割合は、約2割となっています。このことについて、お考えに最も近いものを1つ選択して下さい。



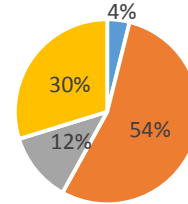
問15 あなたは、防災・災害復興対策において男女共同参画の視点からどのような取組が必要であると思いますか。

(1) 防災会議や対策本部の女性委員を増やすなど防災計画や復興計画策定に女性が参画すること



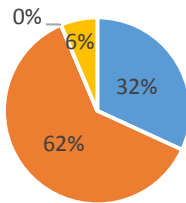
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(2) 女性の消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員が増えること



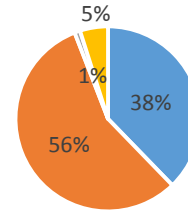
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(3) 災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦への支援体制など）



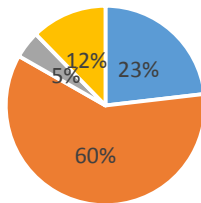
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(4) 避難所の設備（男女別トイレ、更衣室、物干し場、防犯対策など）



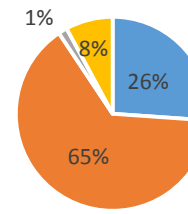
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(5) 避難所運営責任者に男女がともに配置されること



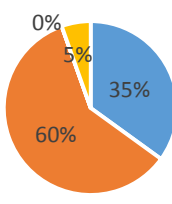
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(6) 必要な備蓄品の把握や被災者に支給する際の配慮



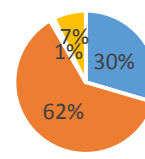
- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

(7) 被災者に対する相談体制（女性相談、男性相談）



- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

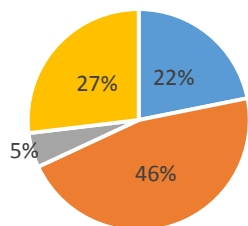
(8) 仮設住宅設置や生活再建支援における配慮（設計への意見反映や乳幼児の一時預かりなど）



- ①特に必要
- ②必要
- ③必要でない
- ④どちらともいえない

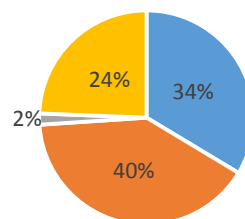
問16 現在、職業に就いていらっしゃる方におたずねします。あなたの職場では次のことについて、男女は平等になっていると思いますか。

(1) 採用時の条件



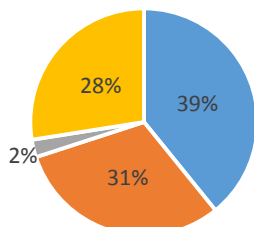
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(2) 賃金



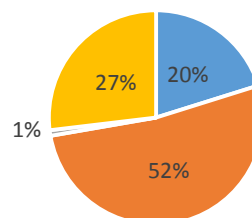
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(3) 昇進や昇格



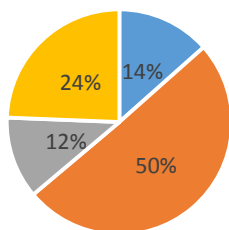
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(4) 能力評価



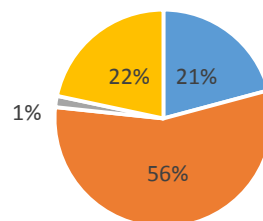
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(5) 仕事の内容



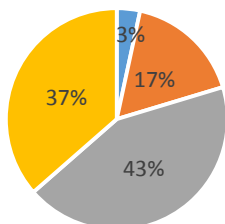
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(6) 研修の機会や内容



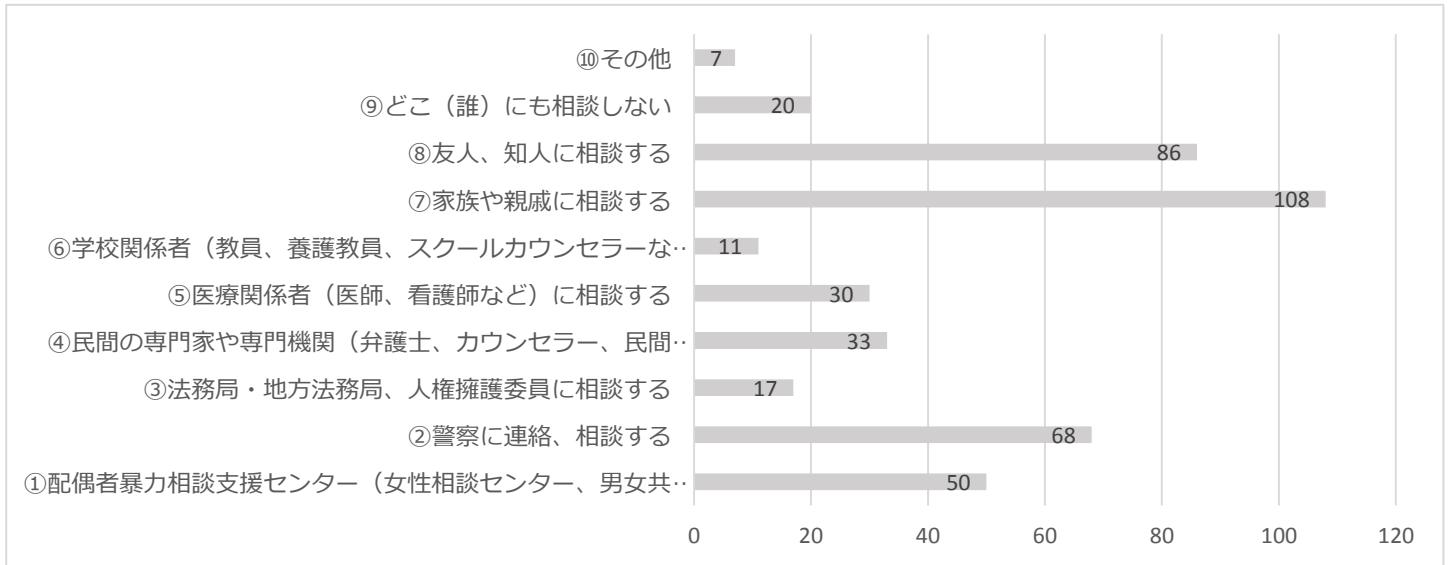
■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

(7) 育児休業・介護休業の取得

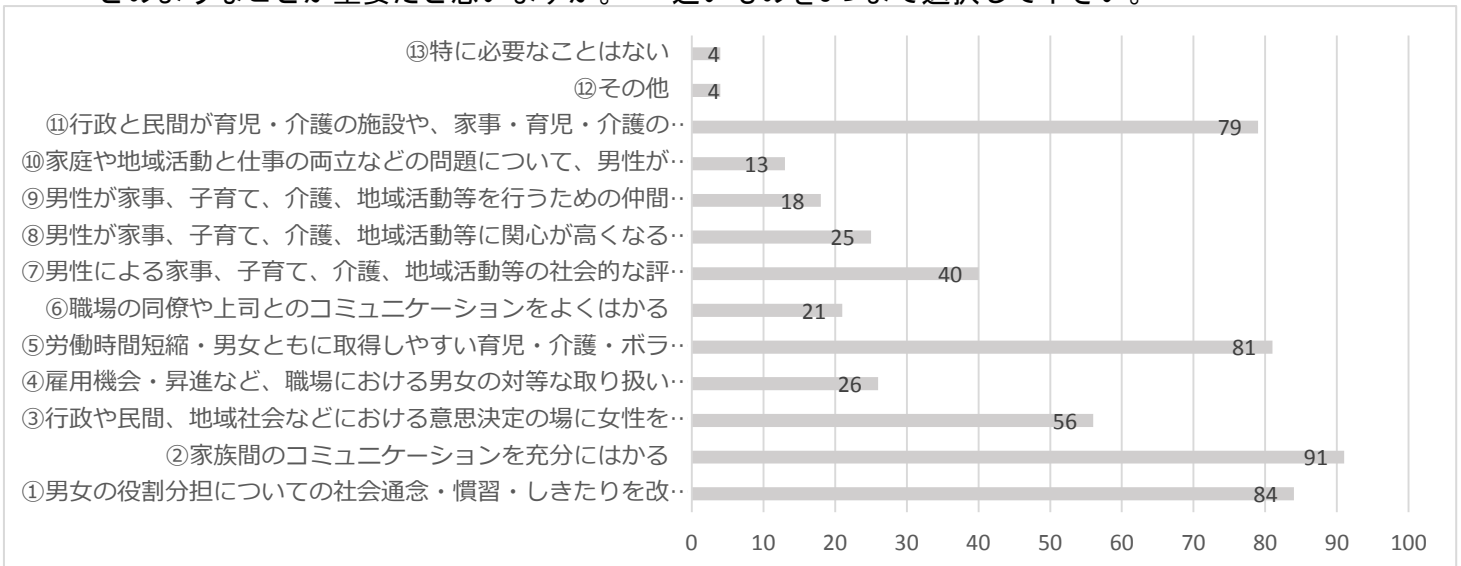


■ ①男性優遇 ■ ②平等 ■ ③女性優遇 ■ ④わからない

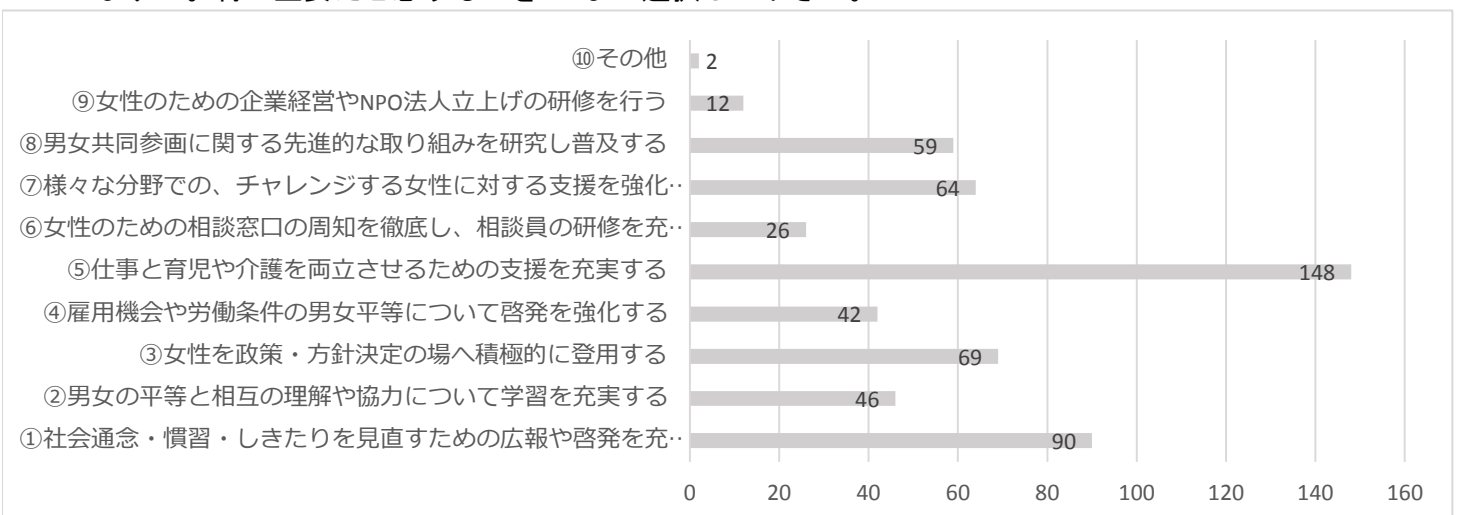
問17 あなたは配偶者や恋人など身近な人から暴力を受けた場合、誰かに打ち明けたり、相談したりしますか。あてはまる番号をすべて選択して下さい。



問18 今後、女性と男性がともに仕事・家庭・介護・地域活動等に、積極的に参加していくためにはどのようなことが重要だと思いますか。近いものを3つまで選択して下さい。

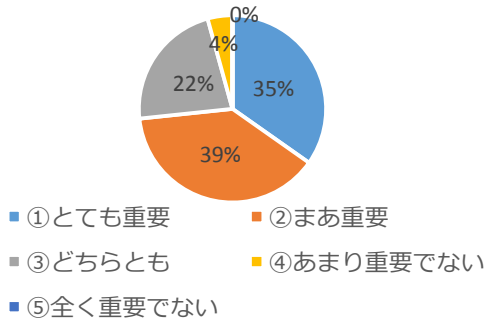


問19 男女共同参画社会づくりを推進するために、町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。特に重要だと思うものを3つまで選択して下さい。

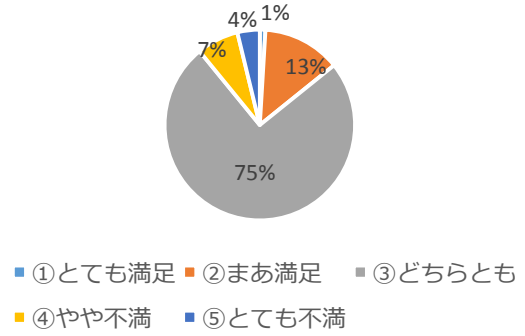


問20 飯島町の男女共同参画社会実現への取り組みについて、あなたはどのように感じていますか。

(1) 重要度について



(2) 満足度について



問6のその他

- ・全ての人自分が満足し、全ての人を尊重する社会

問10のその他

- ・若い頃は男性優先で派遣研修が行われたので、行きたくても行けなかったことがある。

問17のその他

- ・程度によるのでわからない
- ・そういう実態がないので何とも言えない。

問18のその他

- ・男女という括りではなく、個人をしっかり評価する
- ・地域の高齢男性達の古い考え方を改めない限り、男女平等は無理です。老害です。
- ・男とか女とか関係なく適材適所
- ・「平等」な教育を進めながら世代交代されること。

問19のその他

- ・問18に書いた通りです。老害一人一人が考えを改めるとは思えません。
- ・学校の教育を変える

問21 日頃、男女共同参画について思っていることや、男女共同参画社会づくりに関する飯島町の施策について、ご意見・ご要望がありましたら自由に記入して下さい。

- ・飯島町の役場の職員管理職男女比、町会議員の同比は近隣、市町村より、女性の比率が高い事は大変良い事である。今後共、この方向を推進して頂きたい。女性が社会進出、できるよう更なる施策を期待します。自治会の役員に女性の占める、割合が少ないので、今後改善する必要あり。
- ・男女共同参画社会づくりに関する飯島町の施策をしらないのでもっと町民が広く知ることができるようになってほしい。
- ・このようなアンケート調査はやったことがないので今回、男女共同参画調査ということで考えさせられました。男女の平等が第一だと思いました。
- ・地域社会活動において、女性に参加してほしいという考えや要望をしても女性の方で参加しようという気持ちがありません。女性が参加して見たいと思えるように意識改革してもらえそうな手助けをしてほしい。
- ・大人の意識を変えていくのは中々大変な事だと思います。子供の頃から男女平等の考えを植えつけることが大事だと思います。
- ・男女共同参画の名のもとに、変に女性が優遇されていると感じる場面があります。男女ではなく、個人の単位でちゃんと評価してほしいです。
- ・まず政治のトップにいる人の意識が変わらないと変わっていくのは難しいと感じています。
- ・今、飯島町は、男女共同参画の社会づくりは後に、スーパーなど、生活に必要な商店を作り、もっと活性化に努力するべきではないのか？

- ・考え方はなんとなくわかりますが個人がどのような行動をしたらよいか具体的にわからなくて…すみません。
- ・自治会の役員も女性が選出されていくことも大切なことだと考えます。
- ・子供が今は小さくパートで働いていても手がかからなくなった時に正社員雇用制度がある企業が多くなるとこれからもっと女性も働きやすい環境になっていると嬉しいです。
- ・個人的には全てが平等になるだけではないとは思えない。平等とは逆に地域の役を男性がやってくれて助かっている。家庭・子育ては、男性の協力は基本だが、全てが平等だとますます少子化になる気がする。
- ・特にありませんが、知らない事が多いように思っています。
- ・なし
- ・行政が発信源となり、地道に町民の意識改革に努める事が重要である。効果はすぐには表れないと考えるが、機会を多く持つ事が大切である。
- ・新聞に毎日のように載っている性犯罪記事…セクハラ記事。なぜこう事件が起きてしまうのだろうか身体の構造が男女違う事はわかってはいるが罪の無い女性が被害にあう事が悲しくて仕方ない。何とか対策はないものだろうか。昔から男尊女卑はあったと思う。現に生活の中でも感じる事は多々ある。男性の浮気、不倫も男尊女卑から来るものであろうか。女性の人権、妻の人権、主婦の人権を大切に。女性も男性も同じように不安の無い生活が送られる様に！と願うばかりである。
- ・意識改革を進める。女性、若者の意見をよく聞き必要事項を見極め生かす。男性・女性共に仕事と家のことが両立していけるよう労働時間短縮と育児休業、介護休業制度を充実させていくことが必要だと思いますが、国の政策としてきちんと決めてやってくれないとだめだと思います。地方自治体から国への働きかけもとても大事だと思います。
- ・今まで共同参画プランが存在していた事を詳しく知りませんでした。今までのプランで、どういうところがどう改善されてきたのか、知りたいです。
- ・女性の社会進出を後押しするだけでなく、男性の家庭での家事分担を当たり前にしてほしい。そうでなければ政治の場や自治会などに女性が積極的に参加するのは難しいと思う。
- ・総論賛成、各論不賛成の町民には何も期待しません。自分は自分の世界の中で考え、行動していきたいと思います。いろいろしてみました結果は全て×でした。残念です。
- ・結婚し、子供が産まれるまでは、家事はほとんど半々、収入もほとんど夫婦で差はありませんでしたが、出産で仕事をやめなければならなく（産休・育休のない職業だった為）家事全てを行い、育児もほとんど全てやる事になりました。その間夫は仕事で役職を持ち、帰りは遅くなり、私が再就職後も家事育児は私が行うことに変化はありませんでした。私も正社員として8時間～9時間、10時間働いて家事をこなすのは非常に大変です。核家族の場合は夫婦共に短時間もしくは定時で帰れる社会になると良いと思います。
- ・問18,19で書いていますが、高齢男性の古い考え方が変わらない限り男女平等は不可能です。日本はレディファーストという考え方はありませんので、そうとうな改革をしない限りは不可能、無理だと思います。飯島町の男性を全員外国人男性にすれば男女平等になると思いますが。（アイスランド、ノルウェー、フィンランド）
- ・男女共同参画について活動、研修を受けているのが60代後半～70歳代が中心なので、もう少し若い40～50歳代で研修を受けられるようになれば一般に広がるのではないかと考えられます。PTAの講演活用や、ヤングミセス（公民館活動）など幅広く関わって行けたら、女性の考えも前へ一歩出せるのではないかなとも思います。役場内は共同意識は高いようですが、一般外の社会では、「女だで」とか「女なんか」という感じは禁じえません。もっとオープンになると良いですね。
- ・高齢化社会に入り女性が社会に出る機会が多くなるとは思います。若い女性は妊娠、出産の勤めがあり世の中の偏見は簡単には変わらないと思います。
- ・女性が社会進出するためには、何よりも家庭の協力が必要だと思います。

- ・町で男女共同参画という取り組みをしている事を全く知らなかった。町民のどのくらいの人知っているのか。知らなければ、参加する事も考える事も出来ないのではないかと思います。
- ・とてもいい事だと思います。男女の平等は若い人には受け入れやすいのですが、年を重ねるにつれて男は仕事、女は育児など決まってしまうように思います。少しずつ変わっていける世の中になってほしいです。
- ・飯島町の施策、何をやっているのか分からない。広報に書いてあるだけ？
- ・男は仕事、女は家庭という概念自体はあっても良いと思っているが、共働きをしなければ家族を養っていけないという事実が現状として存在していると思う男女どちらが仕事へ出ることも容易で、片方の収入で家族を養えると家庭生活にも目が届きやすくなり、良いのだが…と考える。
- ・男女共同参画プランなるものの内容が全く不明。実務を考慮した共同参画が必要であることがポイント。（何か平面的、概念的過ぎる取組のように思える。）
- ・プランの策定にあたっては、他の自治体やモデルと、横並びになることなく、5年、10年先を見て、飯島町らしいプランの策定と、その実行を強く望みます。よろしくお願いします。
- ・飯島に越してきて3年経ちますが、町の男女共同参画社会づくりの施策について、あまり聞いたことがありませんでした。すみません。広報を読まない（配られない）ご家庭もあると思うので、多くの方々に施策を知ってもらえるような方法があればいいなと思いました。
- ・一人親の子育ての支援について、社会のあり方と地域が理解支援をすることで、男女共同というあり方も見えてくると思う。又、介護について、どういうあり方で、社会的支援をしていくかについても、具体的に発信して男女共同ができるかについて見せてほしい。
- ・勉強不足な事が多々あると感じました。能力があっても、責任ある立場につくのは大変、嫌だ、と感じる女性も中にはいるかと思えます。（女性に限ったことではありませんが…）その辺が難しいなとは思っています。（実際に自分自身もそういうところはあります。）男性が向いている仕事、女性が向いている仕事があるのは事実だと思いますし、差別ではなく区別はあってもいいと思いますが、見極めが難しいところだと思います。ただ、やりたい気持ちがある人を否定するような社会であってはいけないと思いました。
- ・男、女に分けて考える必要が分からない。一人一人、みんな違う良い所悪い所があると思う。自分自身に満足できる人が増えてみんなが楽しく、にこやかに暮らしてくれることを願っています。子ども心を大切に作る町であってほしいです。
- ・女性が活躍している環境の中に居るので男性が優位と思った事がない。男性優位の先入観をすてる事。
- ・女性が社会に出て就労したり地域の役職を担うことだけが共同参画ではないと思っています。小さい子を抱えながら職場で相応の役割を担うのは男性でも女性でも大変です。これから人口減少による労働力不足が深刻になると思うので、男女ともに体も心も壊すことなく、社会・家庭ともに役割を果たして行けるよう、世の中の仕組みを見直す必要があると思いますが、考え方はそれぞれ違うと思うので難しいことだな…と思います。女性だから発想が豊か、というばかりでもないと思うし、全ての男性が固定的な見方しかしないというわけでもないと思います。あまり男女にこだわらず、人として、他の人を思いやり、もちろん自分のことも大切にする、ということ若くは若い人たちに教えてあげ続ければ、段々とあたたかく、みんなが輝ける町を目指せるのではないかと思います。
- ・男女共同参画は、国、各都道府県、又各市町村、自治会、会社においても進められていると思いますが、まだまだだと思います。身近な町、自治会においてもまだ、男性の参画が多く女性が少ないと思います。女性も消極的なところもあるかもしれませんが、男女共に意識改革をして、女性が参画できる会とか、役職に登用できる組織作りも必要だと思います。

・町外で妊娠中の女性が区の役員を一年間全うした。本人の働きと他の役員の協力体制は貴重な前例であるといえるが、例えば広報で紹介されたり、“役員を終えて”などに寄稿されることもないなど表に出ることはなかった。また、幹部もその重要性（女性でも役員で活躍できること、そういった女性がいること）に気づいておらず、区の活動の低迷を嘆くばかりである。こういった事例は町の盛り上がりにおいて大変もったいない“盲点”と考えられる。同時に男女だけでなく、年功序列が能力発揮の場を狭めてしまっては更にもったいない。ぜひ飯島町においては、「男女共同～」という性差を皮切りに、個人の能力、特性が家庭、社会に生かされるような政策の検討をお願いしたい。納税者として協力はおしまない。

・例えば審議会の女性の割合を2割→5割とし、平等としたとしても、なり手（希望者）がいない中で無理矢理登用することをして、その選ばれた人が負担となっては意味がない。参画が無理強いとならないようあくまで機会を増やすという取り組みであってほしい。

・調査結果及び分析、評価について公表を。庁瀨結果を踏まえての今後の政策立案、実施の方向性の開示を希望します。

・共同参画は男女共に平等の立場からスタートすると思う。しかし、性による特色があるのは事実である。特色を最大限にいかしながら、皆で物事を進めるべき。啓発したり、学習したりは意味がない。家庭が基本、家庭の中で男女関係なく生活を営む事が、時間がかかるが、意識改革がすすんでいくのではないか。